

高齢者の心身の健康課題の解消

マネジメント情報

事業活動との関わり

超高齢社会の先頭を走る日本では、医療費の増大等によって引き起こされる社会保障制度の崩壊が危惧されています。この課題を解決するためには、健康寿命を延伸し、高齢者が生きがいをもってより良く生き続けられる社会を構築することが必要です。不二製油グループでは植物性油脂・タンパクを中心とした健康に資する食素材を提供することで、高齢者の心身の健康課題を解消し、高齢化社会におけるウェルビーイングの実現を目指します。

考え方

不二製油グループは、油脂・大豆などの植物性食品素材による健康機能に関する研究を長年にわたり推進しています。特に、研究成果である安定化DHA・EPA^{※1}や大豆ペプチド^{※2}は、高齢者の健康課題（認知症、メンタルヘルス、生活習慣病、フレイル^{※3}など）の解消に寄与する食素材として期待されています。これらの食素材を顧客ならびにその先の消費者へ提供するとともに、自治体などの外部連携により予防する仕組み（エコシステム）を構築することで、事業を通じた高齢者の心身の健康維持に貢献します。

※1 DHA・EPA：ドコサヘキサエン酸・エイコサペンタエン酸の略称。体内での合成効率が高くないために、食物から摂取することを推奨される脂肪酸の一つで、記憶力・集中力の維持、中性脂肪低下など、さまざまな健康効果があることが報告されている。

※2 大豆ペプチド：ペプチドとは、タンパク質の分解過程でできる物質のこと。大豆のタンパク質を酵素分解することで生成されるペプチドは、大豆ペプチドと呼ばれる。

※3 フレイル：虚弱ともいう。健康な状態と要介護状態の中間に位置し、加齢とともに身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のこと。

推進体制

ESGマテリアリティ^{※1}の一つとして、2021年度まで「健康的な食の提供」として取り組みを進めていましたが、2022年度ESGマテリアリティ特定に伴い、「健康と栄養」に紐づく取り組みテーマとして「高齢者の心身の健康課題の解消」へ名称を変更しました。最高技術責任者（CTO）のもとで取り組みを推進しており、取締役会の諮問機関であるサステナビリティ委員会^{※2}において進捗や成果を確認しています。

※1 ESGマテリアリティの詳細については、以下のURLをご参照ください。

＞ <https://www.fujioilholdings.com/sustainability/materiality/>

※2 サステナビリティ委員会の詳細については、以下のURLをご参照ください。

＞ https://www.fujioilholdings.com/sustainability/sustainability_management/

目標・実績

○：目標に対して90%以上達成、△：目標に対して60%以上達成、×：60%未満

2021年度目標	2021年度実績	自己評価
高齢化社会の健康課題解決に寄与する次世代コア技術の機能性検証	<ul style="list-style-type: none">安定化DHA・EPAの新たな健康機能エビデンスの学術論文への掲載オーム乳業との協働による、DHAを機能性関与成分とした乳飲料の機能性表示食品としての受理	△
高齢化社会におけるウェルビーイング実現に向けた取り組み計画の策定	業界・技術調査により、認知症予防をターゲットとしたエコシステム構築（外部連携による予防の仕組み）のための計画策定	○

考察

認知症予防への効果が期待される安定化DHA・EPAは、新たな健康機能エビデンス（骨の健康維持）の学術論文への掲載、日本農芸化学技術賞の受賞など、社外からの高い評価をいただきました。

また、認知症予防のためには、未病状態からのケア・予防が重要であり、そのためには予防に資する食品の提供だけではなく、予防を促進する社会の仕組みが必要で、そのため、認知症のリスクが事前に計測・判断ができるようなヘルステック[※]の事例や行政の取り組みについて調査を進め、予防のためのエコシステム構築に向けた計画を策定しました。

今後は、健康機能面における優位性を確立するとともに、ヘルステックや自治体等との外部連携によるエコシステム構築を推進することで、「未病ケア・予防」により高齢者の健康課題を解消することを目指します。植物性タンパクが有する健康機能をより発揮させやすくするための次世代コア技術は、技術的課題があることが分かったため、技術戦略およびパートナーシップなどの見直しを行うこととしました。

※ ヘルステック：AIやIoTを活用したセンシング技術、ウェアラブルデバイスなどのデジタル技術を組み合わせて健康管理、予防、介護などの課題解決を図る技術群のこと。

Next Step

高齢者における心身の健康課題解消において、提供する素材の健康機能に関するエビデンスおよび優位性の確立、高齢者が予防を意識するモチベーションの創出が重要です。これらの課題を念頭に置き、以下の2022年度目標に取り組んでまいります。

- 安定化DHA・EPAの健康機能面における差別化・優位性の確立
- 認知症予防に向けたエコシステムの構築

具体的な取り組み

加齢に伴う認知機能低下の抑制や骨の健康維持に寄与する研究成果の発表

国立大学法人島根大学医学部との共同研究成果として、不二製油（株）が開発した安定化DHA・EPAを含む乳飲料の摂取が健常高齢者の加齢に伴う認知機能の低下を抑制するとともに、サブ解析によって骨の健康維持にも効果があることが明らかとなり、日本油化学会の英文誌「Journal of Oleo Science」に論文が掲載されました。骨粗しょう症や骨折は高齢者の生活の質を大きく下げる要因の一つであり、本研究が高齢者のウェルビーイングに貢献できるものと期待しています。

さらに、2020年に「Journal of Functional Foods」に掲載された論文を科学的根拠とし、グループ会社であるオーム乳業（株）との協働により開発した、機能成分であるDHAが従来よりも大幅に低含量（DHA297mg配合）の乳飲料が機能性表示食品として受理されました。低含量化により、DHA・EPAの課題である酸化劣化による魚臭さの発生リスクを抑制することができ、さまざまな食品用途での展開が期待できます。消費者の皆様がこれまで以上に、手軽に美味しいDHA配合食品を摂取できるようになると考えています。

社会からの評価

2021年11月、厚生労働省の表彰制度である「第10回健康寿命をのばそう！アワード」介護予防・高齢者生活支援分野において、大阪府貝塚市、学校法人大阪河崎リハビリテーション大学、不二製油（株）の産学官連携で実施したロコモ・認知症予防の取り組み「つげさんフレイル・ロコモ・認知症予防プロジェクト」が厚生労働大臣 優秀賞（団体部門）を受賞しました。「健康寿命をのばそう！アワード」とは、厚生労働省（スマート・ライフ・プロジェクト）、スポーツ庁が主催し、生活習慣病予防の啓発活動の奨励・普及を図るため、優れた活動に対して表彰を行うものです。

また、2022年3月には、公益社団法人日本農芸化学会より日本農芸化学技術賞を不二製油（株）として受賞しました。受賞タイトルは「高度な酸化安定性を付与したDHA・EPA油"プロレア[®]」の開発と応用展開」です。本受賞は安定化DHA・EPAの技術評価ならびに今後の実用的価値について高く評価いただいたものと考えています。今回の受賞を礎にさらなる市場展開を図るとともに、高齢者の健康課題解消につながるよう進めてまいります。



第10回健康寿命をのばそう！アワード



日本農芸化学技術賞
受賞記念メダル